

令和3年度 学校図書館評価シート

足立区立十二中学校 校長 上岡祥邦

1 学校図書館の現状 (今年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 14632 冊 (蔵書基準冊数 11750 冊) / 蔵書率 124% (前年度 120%)									
	② 新規購入図書 500 冊 / 廃棄図書 0 冊 / 増減冊数 500 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学8類
蔵書構成割合	4.6 %	2.2 %	9 %	9 %	7 %	6 %	0.6 %	3.4 %	3.6 %	54.2 %
*国基準	6 %	2 %	18 %	9 %	15 %	6 %	5 %	9 %	4 %	26 %
利活用の状況	① 開館時間: 授業時、毎日昼休みから17時まで (前年度からの変更 <u>あり</u> なし)									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 6 冊 (前年度: 3.1 冊)									
	③ 学校図書館利用率 1226% (前年度: 596%)									

2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況 (今年度総括)

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により学校図書館の開館日数が減り読書に励む時間が減ってしまったが読書の楽しさや親しみやすさを推進して貸し出し冊数が増えた。
- ② 調べ学習や委員会活動の利用などもなかなかできず、朝会の発表や放送の発表などができなかったが、限られた中で主体的に限られた中で行い、図書館の利用を行った。

3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第1学年	① ①読書を楽しもうとする態度を養い、図書館に通う習慣をつける。 ② 図書館の基本的な利用の仕方・調べ方を身につける。 ③ 読書を通じて豊かな心を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館のきまりや仕組みを知る。 ② 昼休みの時間等、学校図書館を活用して、読書ができる。		① 第一学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年比 8%増 ② 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%
目標達成状況		
① 調べ学習など新型コロナウイルス感染症の影響はあったが感染対策を行い、オリエンテーションの実施率は 100%になった。		
第2学年	① 読書の幅を広げ、進んで読もうとする態度を身に付ける。 ② 進んで学校図書館を利用する態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用できるようにする。 ③ 読書を通して豊かな心を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。 ② 昼休みの時間等、学校図書館を活用して、読書ができる。		① 第2学年の生徒1人あたりの年間貸し出し平均冊数前年比 8%増 ② 探求授業の授業を各学級1回以上実施する。
目標達成状況		
①調べ学習で図書館の資料を利用することは増えた。 ②新型コロナウイルスの感染症の影響が出て主体的に学校図書館を利用して読書する生徒が増えた。		

第3学年	① 適切な読み物を選んで読もうとする習慣を身に付ける。 ② 積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようにする。 ③ 読書を通して広い視野を身に付けさせると共に、豊かな心を育てる
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、よりよい仕組みについて考えたり、話し合ったりすることができる。 ② 休み時間や放課後の時間帯等、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。	① 第3学年の生徒1人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 探求授業の授業を各学級2回以上実施する。
目標達成状況	
① 新型コロナウイルス感染症の影響を受験対策で図書館を利用することが限られてしまったが、コロナ禍でも、主体的に図書館の本を利用して読書する生徒がいました。	

4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 古い除籍しないといけない図書が多く、随時除籍データ入力、本の除籍処理作業、などの処理を行う。
- ② 新規購入図書の購入計画は1月下旬までに随時行い、登録作業は3月下旬までに随時行う。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 学校図書館オリエンテーションの実施や生徒会朝礼での本の紹介、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ③ めざせ1万ページやしおりキャンペーン等、生徒が主体的に読書活動を取り組める環境に努める。

【その他】

- ① 年度末の貸出返却率が100%となるように取り組む。
- ② 調べ学習等で学校図書館だけでなく足立区の図書館を積極的に活用していく。

5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

新型コロナウイルス感染症対策により学校図書館を閉館したり、学年ごとに開館するなどする時期もあったが、コロナ禍で部活動や行事が制限される中で、図書担当教諭と学校図書館支援員が協力しながら読書活動の推進に取り組んだ。

その成果として、貸出平均冊数が増え、読書に親しむ生徒の数が昨年度よりも増えた。調べ学習において学校図書館を活用して探究活動を進められるように授業に必要な資料を集めたり、自分の考えを表現する力を育成することが出来る環境を整えていくようにした。

一方で、学校図書館を全く利用しない生徒も一定数いるため、読書に興味の無い生徒たちに対しての、読書の面白さを委員会や担当教諭と一緒に伝えていく効果的な方法を考え、コロナ対策を行いながら学校図書館支援員と協力して検討していく必要がある。

6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

古い劣化した本があるので、それを廃棄して新しい図書の入れ替えを随時すすめてほしい。
委員会活動をおこなえる環境作りをする。
コロナ対策をしながら、全体として読書環境を整える。

7 今後の展望 一課題や問題点への改善・対応方針を踏まえて一

学校図書館資料の整理や更新及び館内の展示や掲示の充実を図り生徒がより利用しやすい学校図書館環境を整備し、イベントや授業により生徒の興味に訴えていく。

教職員への周知や学校図書館のもつ「読書センター」「学習センター」「情報センター」の機能向上と生徒への周知活動を行い、心の拠り所としても発信をして行く。